

2017-B

VI50B

拠出金・基金  
の名称

初等教育関係拠出金

種 別

 イヤマークのみ  一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】教育のためのグローバル・パートナーシップ (GPE)

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局地球規模課題総括課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

初等教育関係拠出金は、G8教育タスクフォースの提言を受け、2002年に世銀主導で設立された途上国の教育セクターを支援する国際的なパートナーシップである教育のためのグローバル・パートナーシップ (GPE)への拠出を通じて、二国間支援では対応が困難な紛争地域等での支援や、GPEが重点を置く低所得国で集中的、包括的支援を行うことを目的としている。

GPEは戦略計画であるGPE2020において、①質の高い教えと学びによる学習成果の改善、②ジェンダー平等・格差是正、③効果的、効率的な教育システムを目標に掲げ、SDG4の実現にむけた取組を強化している。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率 (%)
平成29年度	114,597	1,041		1米ドル=110円	100
平成28年度	232,046	1,934		1米ドル=120円	100
平成27年度	162,193	1,471		1米ドル=110円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

我が国は、人間の安全保障の実現の基礎になるものとして、教育分野の開発協力を重視している。GPEへ拠出を行うことで、以下のような効果が期待できる。

1 二国間支援が困難な紛争影響国等への支援が可能になり、二国間支援を補完し、効果的な支援が可能になる。(GPEの支援対象途上国(パートナー国)の48%(32ヶ国)が紛争影響国・脆弱国であり、世界の無就学児童の2/3がこれらの国々に居住。GPEの無償資金の6割がこれらの国々に供与されている。)

2 GPEへの支援を通じて途上国の教育セクター計画策定や教育指標の改善に貢献できる。(2002年と比較し、2016年にはGPEのパートナー国において、初等教育に就学している子供の数が7700万増加。)

3 女子教育分野においても貢献しており、ジェンダーに配慮した支援により、2010年と2016年を比較し、支援対象国の42%でジェンダー平等の指標が改善。

【備考】